

◆ 大井川流砂系総合土砂管理計画検討委員会 現地視察箇所

視察箇所	予定時刻
①長島ダム	11:15-12:15
②寸又川合流点	12:35
③榛原川合流点付近	12:55
④塩郷堰堤上流	13:05-13:15
⑤牛尾地区狭窄部開削箇所	14:05
⑥蓬萊橋	14:20-14:50
⑦旧大井川サイホン撤去箇所	15:00
⑧大井川河口部	15:20-15:30
⑨駿河海岸	15:45-15:55

◆大井川の概要

- ・間ノ岳(標高3,189m)に発し、寸又川、笹間川等の支川を合わせながら、駿河湾に注ぐ。
- ・幹線流路延長168km、流域面積1,280km²の1級河川。
- ・扇頂部付近から下流(直轄管理区間)の平均河床勾配は約1/250と急勾配である。
- ・流域には、15基のダムが建設されている。



凡例

- 見学箇所
- 車窓からの見学箇所
- トイレ・休憩箇所
- () 直轄管理区間

トイレ休憩箇所

①長島ダム管理所
②道の駅 川根温泉
③蓬萊橋
④大井川港管理事務所

②寸又川合流点

・ダム領域の代表地点: 寸又川に設置されているダムは昭和36年時点でほぼ万差状態であり、本川での局所的な堆積・侵食の要因となっている。

③榛原川合流点

・山地河道領域の代表地点: 現在、林野庁の大井川治山で盛んに治山工事を実施している支川。土砂生産の実態把握が必要である。

⑥蓬萊橋(ほうらいばし)

・1997年に「世界一長い木造歩道橋」としてギネスに認定。現在も、賃取橋(有料)である。

・蓬萊橋周辺では、「大井川宝来地区かわまちづくり」が進められている。

④塩郷堰堤上流: 砂利採取箇所

・山地河道領域の代表地点: 支川からの土砂供給による、塩郷堰堤上流部の河床上昇が見られる。民間による砂利採取の実施箇所。

①長島ダム

・平成14年に完成した多目的ダム。

・洪水調節、流水の機能の維持、かんがい、水道用水・工業用水の供給を目的としている。

・ダム領域の代表地点: 大井川における土砂管理計画の上下流を決める基点となっている。当初計画(10万m³/年)より堆砂が進行しており、今後の堆砂が課題となる。

⑤牛尾地区狭窄部開削箇所

・牛尾地区の川幅は、牛尾山の突出により非常に狭く狭窄部となっている。

・平成24年度より狭窄部付近では、流下能力向上のため、開削事業を行っている。

⑦旧大井川サイホン撤去箇所

・昭和の土木遺産「旧大井川サイホン」の撤去箇所。

・昭和27年に着工し、当時の最新技術と人力を駆使して建設され、60年あまり大井川右岸下流に水を供給。

⑧大井川河口部

・河口・海岸領域の代表地点: 河口部における土砂堆積の状況が見られる。

・河口部は河床が上昇、流下能力不足区間であり、河道掘削が予定されている。

⑨駿河海岸

・河口・海岸領域の代表地点: 駿河海岸の侵食に伴う海岸線の後退の状況が見られる。

・対策工の有脚式離岸堤(大井川工区)を見学。

委員会会場
大井川港管理事務所